

みなみ

R3 竜王南小学校便り

No. 12

2022.1.21 発行
甲斐市立竜王南小学校



学校教育目標

「楽しい学校（楽校）の創造」

－ やる気 こん気 げん気 －

令和4年を迎えました！



校舎3階からの富士山

子供たちにとって楽しかった冬休みもあっという間に終わり、令和4年が始まりました。皆様におかれましても、新たな気持ちで年明けを迎えられたことと思います。今年も子供たちにとっても実りある一年になるよう願うばかりです。

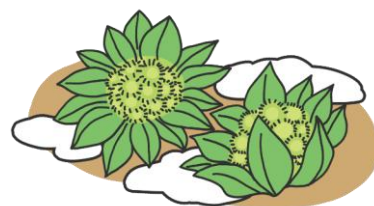


凍りつく朝の登校風景



子供たちは寒い中でも、毎朝早くから登校しています。海外ではバス通学や保護者の送迎が当たり前ですが、治安の良さもあり日本では徒歩で登校する姿が当たり前となっています。そうはいいつつも、3学期はじめ、この寒い時期の登校には厳しいものがあります。しかし、子供たちは氷点下の寒さに凍えながらも、通学途中で見つけた氷の話をしたり、校庭の霜柱を踏んで楽しんだりしながら玄関に入ってきます。そのような姿に私も毎朝元気をもらっています。子供たちは寒さに負けないどころか、かえって自然の変化に気付いたり、時には楽しんだりしています。そのような姿を通して、四季を肌で感じながら通学することの良さもあることを感じています。

さて、年は改まりましたが、学校は年度の途中であり、3学期のスタートです。3学期の授業日数は51日（6年生は47日）、とても短い学期です。3学期はそれぞれの学年の総まとめの学期です。特に6年生は、中学校に進学する前の最後の学期になります。勉強や運動を精一杯頑張って、3学期が終わるときに悔いの残らないよう、しっかり自分を育てて欲しいと思います。竜王南小学校教職員一同、3学期も一人一人の子供をしっかり見つめ、集団としてもしっかり成長するよう最善を尽くしていく所存であります。今後とも、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



授業参観延期について

感染症拡大を受けて本校でも1月下旬から始まる予定だった授業参観の延期をお知らせしました。（山梨県の協力要請に基づく判断です。）保護者の皆様にはお忙しい中、予定変更で申し訳ありません。どうぞご理解ご協力お願いいたします。

感染症対策



2学期は新型コロナウイルス感染症も落ち着いていたので、10月以降学校行事も例年に近く実施出来て、ホッとしていたところでした。しかし、年明けから一気にオミクロン株の感染が広がり始め、山梨県でも3学期を開始した以降、日に日に感染者が増加し、既に過去最高の一日の感染者数にのぼりました。甲斐市教育委員会でも1月14日付でお知らせした通り、家族内感染も広がっていることから、あらためて家族の健康チェックも合わせてお願いいたします。朝お忙しい中で大変かとは思いますが是非ご協力をお願いします。

感染防止のための生活について、文部科学省から「学校の新しい生活様式」（2021.11.22Ver7）が発出されています。この感染症は、いつでも、どこでも、だれの身にも起こりうるものと認識し、この感染症とともに社会で生きていくために作成されたものです。学校生活においては、『手洗いや咳エチケット、換気といった基本的な感染症対策に加え、感染拡大リスクが高い「3つの密」を避ける、身体的距離を確保するといった感染症対策を徹底することが必要です。』としています。最近ではオミクロン株の流行により、「3つの密」がなくても感染する場合も見られるとのことですので、より注意をしていきたいものです。

子供たちは以前にも増して感染対策にしっかり取り組んでいます。特にマスクを外す給食時が一番心配になりますが、黙食の徹底をしています。1年生でさえも黙食が当たり前になっています。コロナ禍前の学校では給食中、班になってのおしゃべりが楽しみの一つでもありました。今は残念ですが、新型コロナウイルスの感染が収まるまではこの方法での給食しかできません。ですので、一日も早い感染収束を願わずにはられません。



給食中、黙食をする1年生
(誰もおしゃべり
しません!!)

以前にもお伝えしていますが、再度お願いです。

学校内での感染拡大を防ぐためには、何よりも外からウイルスを持ち込まないことが重要であり、各ご家庭の協力が不可欠です。毎日の児童の健康観察はもちろんのこと、例えば、家族に発熱、咳などの症状がある場合には、児童を欠席させるようお願いいたします。（その場合は出席停止扱いとなります。）また、休日において不要不急の外出を控える、仲の良い友人同士の家間での行き来を控える、家族ぐるみの交流による接触を控えるなど、学校を通じての人間関係の中で感染が広がらないよう細心の注意が必要です。



今後も状況によっては、急な変更やお願いが出てくるかもしれませんが、ご協力お願いいたします。

子供たちが学校生活を無事に送っていくためには、様々な課題が生まれてくることも予想されます。保護者の皆様と連携をしながら子供たちを守る、子供の笑顔のために、一つ一つついでにねいに向き合っていながらこの難局を乗り切っていきたいと考えています。よろしくお願いいたします。

(文責 長谷川佳代)